

11月20日 瀬戸市遠隔教育フォーラム

瀬戸市では、教員の指導や児童生徒の学習の幅を広げること、また児童生徒の学習機会の確保を図る観点から、2018年度から学校教育において遠隔教育システムを活用してきた。同市の遠隔教育システムの効果的な活用についての取組を広めるとともに、今後の学校教育における遠隔教育システム活用の充実を図ることを目的として、本フォーラムは開催された。

フォーラムでの授業の様子1



新設校にじの丘小学校で、遠隔教育システムを使った日本語指導が行われた。

フォーラムでの授業の様子2

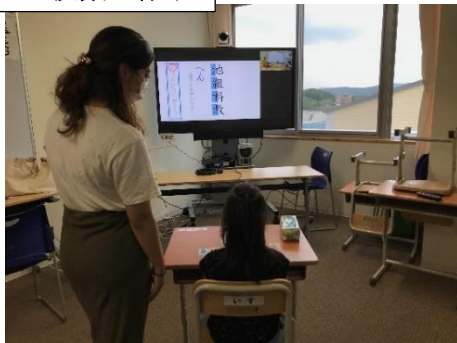


日本語指導の十分なノウハウのある原山小学校の先生と協力しながら、遠隔で授業を行っている。

<活用のポイント>

- 電源をつけてすぐに授業ができるような機器設計をしている。
- 授業準備や機器の操作が楽にできるようにしている。
- 遠隔の授業が必要な地区や学校に参考になるだけでなく、価値観を共有する学校同士で協力して授業を作る際にもよいモデルになる。

別日の授業の様子



にじの丘小学校では、日本語教室の授業を月に1回程度、遠隔教育システムを使って実施している。



瀬戸市内には、プロジェクターで遠隔教育システムを使用している学校もある。